



News Release

2020年6月25日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

エアコン・換気扇・扇風機の事故に注意 ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方のエアコン・換気扇・扇風機の事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2015年度から2019年度までの5年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報※¹において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生したエアコン※²の事故は計98件※³、換気扇・扇風機※⁴の事故は計51件ありました。エアコンの事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示し、換気扇・扇風機の事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表4、被害状況別事故発生件数を表5、原因区分別事故発生件数を表6に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 ルームエアコン（室外機、室内機）

※3 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

※4 ファンの見えないものやサーキュレーターを含む。USB 接続の扇風機は含まない。

表1. エアコンの年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2015年度			5	1	5	12			1		24
	(内数)火災事故			(5)	(1)	(4)	(10)					(20)
	2016年度		1	4	2	4	4			1	1	17
	(内数)火災事故		(1)	(4)	(2)	(4)	(4)			(1)	(1)	(17)
	2017年度	1	1	1	3	1	3	1	1	1		13
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)		(13)
	2018年度			3	7	6	5					21
	(内数)火災事故			(3)	(6)	(5)	(5)					(19)
	2019年度	1	1	2	8	4	6	1				23
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(8)	(4)	(6)	(1)				(23)
	合計	2	3	15	21	20	30	2	1	3	1	98
	(内数)火災事故	(2)	(3)	(15)	(20)	(18)	(28)	(2)	(1)	(2)	(1)	(92)

表 2. エアコンの被害状況別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡			1	2						3	
		重傷					1					1	
		軽傷				1	1	4				6	
	物的被害	拡大被害	2	2	11	16	8	13	1		1	1	55
		製品破損		1	4	3	9	12	1	1	2		33
合計		2	3	15	21	20	30	2	1	3	1	98	

表 3. エアコンの原因区別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの			5		1	3					9
	B 製品および使い方に問題があったもの				1							1
	C 経年劣化によるもの				1		2	1			1	5
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの		1	1	4	5	3		1	1		16
	小計	0	1	6	6	6	8	1	1	1	1	31
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの			2	2	2	5					11
	E 誤使用や不注意によるもの			1								1
	F その他製品に起因しないもの		1		1		2					4
	小計	0	1	3	3	2	7	0	0	0	0	16
その他	G 原因不明なもの	1		3	3	7	9			2		25
	H 調査中のもの	1	1	3	9	5	6	1				26
	小計	2	1	6	12	12	15	1	0	2	0	51
合計		2	3	15	21	20	30	2	1	3	1	98

表 4. 換気扇・扇風機の年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2015年度			2	3	1	5			1		12
	(内数)火災事故			(2)	(1)		(3)			(1)		(7)
	2016年度		1	2	2		2					7
	(内数)火災事故		(1)	(2)	(1)		(2)					(6)
	2017年度		3	3	4	1	2					13
	(内数)火災事故		(2)	(2)	(4)		(1)					(9)
	2018年度		1	3	2	1	2					9
	(内数)火災事故		(1)	(3)	(1)	(1)	(1)					(7)
2019年度	1		1	1	1	4			2		10	
(内数)火災事故	(1)		(1)	(1)	(1)	(4)			(2)		(10)	
合計		1	5	11	12	4	15	0	0	3	0	51
(内数)火災事故		(1)	(4)	(10)	(8)	(2)	(11)	(0)	(0)	(3)	(0)	(39)

表 5. 換気扇・扇風機の被害状況別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
被害状況	人的被害					1						1
	軽傷						1					1
	物的被害											
	拡大被害	1	4	9	5	2	5			2		28
	製品破損		1	2	7	1	9			1		21
合計		1	5	11	12	4	15	0	0	3	0	51

表 6. 換気扇・扇風機の原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	1	4	2	3					11
	B 製品および使い方に問題があったもの				1							1
	C 経年劣化によるもの		2	2	3		2			1		10
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの			6	1	1	2					10
	小計	0	3	9	9	3	7	0	0	1	0	32
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの						1					1
	E 誤使用や不注意によるもの		1									1
	F その他製品に起因しないもの		1									1
	小計	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
その他	G 原因不明なもの			1	2		3					6
	H 調査中のもの	1		1	1	1	4			2		10
	小計	1	0	2	3	1	7	0	0	2	0	16
合計		1	5	11	12	4	15	0	0	3	0	51

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① エアコンによる事故

- ・ 2018年2月、埼玉件、拡大被害

(事故内容)

使用中のエアコン付近から出火し、壁の一部が焼損した。

(事故原因)

使用者の知人が室内機と室外機を接続する配線をスリーブにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定される。

なお、据付工事説明書には、「配線は途中接続しない。感電、火災の原因になる。」旨、記載されている。

② 換気扇による事故

- ・ 2018年8月、神奈川県、拡大被害

(事故内容)

換気扇及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

換気扇の電源接続端子部への水分の浸入に対する保護が不十分であったため、屋外から水分が浸入した際、異極間でトラッキング現象が生じ、出火に至ったものと推定される。

なお、換気扇はリコール対象製品であり、使用者宅へ訪問等による点検の案内が行われていたにもかかわらず対策が行われなかったことも、事故発生に影響したものと考えられる。

③ 扇風機による事故

- ・ 2018年6月、東京都、拡大被害

(事故内容)

扇風機を使用中、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

扇風機は、長期使用(48年)により、始動用コンデンサーの絶縁性能が低下し、出火したものと推定される。

2. エアコン・換気扇・扇風機の事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① 内部に洗浄液がかかりトラッキング現象で発火 (2. (2) 写真1)
- ② 内部配線の劣化により発火 (2. (2) 写真2)

(その他)

・エアコン

- ③ 電源コードの継ぎ足し接続で発火
- ④ ねじり接続で発火
- ⑤ 途中接続で発火
- ⑥ 害虫が侵入し、内部ショート
- ⑦ 外火による室外機の燃焼

・扇風機

- ⑧ コンデンサーの発火
- ⑨ 内部部品の発火1
- ⑩ 内部部品の発火2
- ⑪ 就寝中に発火

(2) 実験映像例



写真1. 内部に洗浄液がかかりトラッキング現象で発火



写真2. 内部配線の劣化により発火

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：松本（まつもと）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820